

C L T活用促進に関する関係省庁連絡会議（第14回）  
議事要旨

日 時：令和5年9月28日（木）14:00～14:15

場 所：官邸4階大会議室

出席者：森屋 宏 内閣官房副長官  
森 昌文 内閣総理大臣補佐官  
深井 敦夫 内閣官房内閣審議官  
吉越 清人 警察庁長官官房会計課長  
藤原 朋子 こども家庭庁成育局長  
濱田 厚史 総務省自治財政局官房審議官（財政制度・財務担当）  
吉田 和弘 法務省大臣官房施設課技術企画室長  
笠原 隆 文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部長  
寺門 成真 文部科学省高等教育局私学部長  
斎須 朋之 厚生労働省大臣官房審議官（老健、障害保健福祉担当）  
宮本 直樹 厚生労働省大臣官房審議官（医政、口腔健康管理、精神保健医療、災害対策担当）  
  
小坂 善太郎 林野庁次長  
真鍋 英樹 経済産業省大臣官房審議官（商務・サービス担当）  
井上 博雄 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部長  
秋月 聡二郎 国土交通省大臣官房官庁営繕部長  
石坂 聡 国土交通省住宅局長  
神谷 洋一 環境省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官

1. 説明内容

C L Tの活用状況について、深井内閣審議官より資料1及び資料2に沿って説明があった。

次に、新ロードマップのフォローアップについて、深井内閣審議官より資料3-1に沿って説明があった。さらに、各省の取組状況について、資料3-2に沿って深井内閣審議官、小坂林野庁次長、石坂国土交通省住宅局長、神谷環境省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官より説明があった。

「C L T活用促進に関する関係省庁連絡会議幹事会の開催について」の一部改正について、深井内閣審議官より資料4に沿って説明があり、案のとおり決定となった。

2. 出席者からの主な意見

副議長である森内閣総理大臣補佐官より以下の発言があった。

- ・ 昨年、本会議において新ロードマップを改定して内容の充実を図ったところだが、本日も報告頂いた事項も含め、新たなロードマップに沿ってしっかりと取り組んでほしい。
- ・ 国土強靱化、地方創生、脱炭素社会の実現、花粉症対策の促進の観点から、C L T活用の重要性は増しており、公共建築物での活用を引き続き積極的に進めていくとともに、民間建築物分野でも、地方に普及させていくことが大切だ。
- ・ このためにも、新ロードマップに位置づけられた、
  - ・ 標準的な設計を示す木造化モデルの作成
  - ・ C L Tパネルの寸法等の標準化・規格化

- ・CLTの活用拡大につながる防耐火規制の合理化等の取組を進め、地方都市など全国的にもニーズが多いと考えられる中層建築物への普及、コストの低減が進められるようお願いする。
- ・CLTの活用促進についてはまだまだ発展の余地があり、引き続き、新ロードマップに基づき、積極的に施策の発展を進めてCLTを活用しやすい環境の整備を進めて頂きたい。

議長である森屋内閣官房副長官より以下の発言があった。

- ・本日の会議では、CLTを活用した建築物が今年度中に1,000件を超える見込みであるとの報告があり、CLTの普及が着実に進んでいることを確認した。
- ・なかでも、地方での民間の中層建築物や学校施設などへの活用が進んできており、地方への波及効果の大きいプロジェクトが増えてきている。また、大阪・関西万博日本館へのCLTの活用と、その再利用を図るための取組が関係省庁の連携のもと進められている。
- ・各省庁におかれては、引き続き、CLTの認知度拡大やコスト面の課題の克服に資するよう、こうしたモデル的プロジェクトの推進に積極的に取り組んで頂きたいと思う。
- ・また、昨年9月に改定した新ロードマップに沿って、
  - ・地域の建設会社等が取り組みやすくなる標準的な木造化モデルの作成・普及
  - ・効率的に量産することが可能になる寸法等の標準化
  - ・中層建築物等での活用拡大を図るための防耐火規制の合理化などの取組が着実に進められている旨の報告を頂いた。
- ・令和6年度概算要求においても、新ロードマップに位置づけられた取組が盛り込まれている。
- ・CLTの活用促進は、新たな木材需要を生み出し、適切な森林管理を通じた国土強靱化や、地方創生にも寄与するほか、脱炭素社会の実現にむけたGX（グリーントランスフォーメーション）の推進につながる。
- ・CLTについては、中高層木造建築等への活用など更に発展が期待されており、各省庁におかれては、引き続き、新ロードマップのもと、関連施策の積極的推進に御尽力をお願いする。

以上